

電池取付方法 CR8-LHC(VLR81)

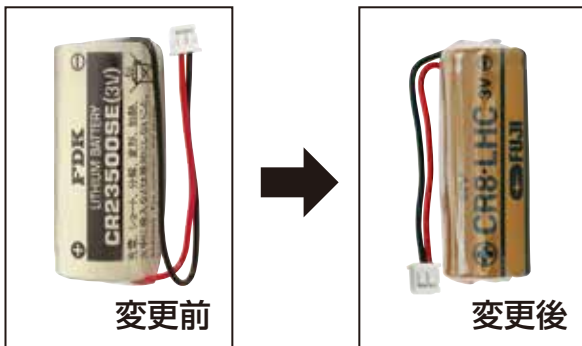
交換マニュアル A

対象型番:4MY611,4MY812

電池の取り付けや交換作業は、危険を伴うことがありますので、お客様が直接なさらずに工事業者へご依頼ください。

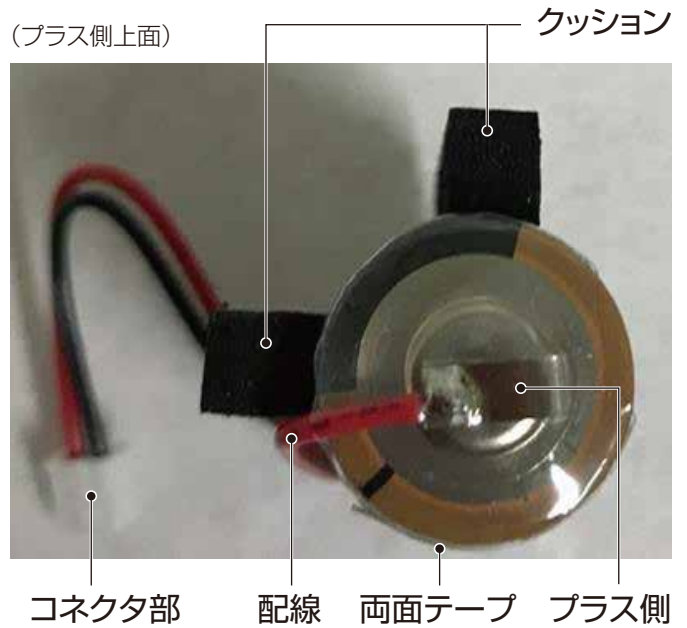
■電池の仕様について

メーカーの仕様変更に伴い、従来品とは異なる形状になっています。



リチウム:CR2350SE(VLR235) リチウム:CR8-LHC(VLR81)

■電池各部の名称



■操作シールの訂正について

時計裏面には操作シールが貼付されています。

電池の仕様表記が異なりますので、電池交換の際は、操作シールに訂正シールを貼り付けてください。

■ご注意
裏ぶたをしっかりと取り付けてください。取り付けが不十分だと、時計が落下する恐れがありますので危険です。
裏ぶたの上部の凹部と、時計体の上部の凸部を引っ掛けます。
時計体を裏ぶたにきちんとかぶせ、時計裏面の3カ所を裏ぶたの止めねじで締めて確実に固定します。

■電池の受信方法
防水カバーを取り除き操作します。操作終了後は、防水カバーを確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、水分が侵入して故障の原因になります。
① アンテナを送信側の方向に向けます。
② 強制受信ボタンを押します。LEDランプが点灯するまで待ちます。(約2分程度)
③ 受信確認ボタンを押します。LEDランプが約5秒間点灯：受信成功
LEDランプが約5秒間点灯：受信失敗
※受信に失敗した場合は、アンテナの向きを再度調整してから②、③の順に試してください。
※受信に失敗した場合は、アンテナの向きを再度調整してから②、③の順に試してください。
※時刻合わせボタンを押すと表示時刻が進みます。
※時刻合わせボタンを押すと1分進みます。
※押し続けると5分進みます。
※時刻修正モードにするには3秒程度時刻合わせボタンを押し続ける必要があります。

■電池交換について
特殊な電池を使用していますので、一般店では販売しておりません。
●電池入手方法 ⇔ リズム時計お客様相談室(TEL:0120-557-005)にご依頼ください。
●電池形式 ⇔ 高容量円筒型リチウム電池(FDK製CR2350SEと同部品)
●外装型番 ⇔ 4MY611
●電池交換方法 ⇔ なるべく最寄りの電気工事店などにご相談の上、電池交換してください。

① 時計裏面中央にある防水カバーを外します。
② 時計機械部のふたを止めている4本のねじを外します。
③ 電池を接続しているコネクタ部を引き抜いて外します。
④ 新しい電池のコネクタの向きを合わせて差し込みます。

防水カバー コネクタ部を引き抜いてください。
※無理に引き抜くと接触不良等の原因になります。

⑤ 時計機械部のふたを閉め、4本のねじを止めます。
⑥ 防水カバーをしっかりとめ込みます。
他の部品には触れないように注意してください。
両面にキズをつかない、シワをさせないようにしてください。

⚠ 電池は水中に投入しないでください。破裂する危険があります。
88853-2

- 電池入手方法 ⇔ 「リズム時計お客様相談室(TEL:0120-557-005)」にご依頼ください。
- 電池交換方法 ⇔ なるべく最寄りの電気工事店などにご相談の上、電池交換してください。
- 電池形式 ⇔ 高容量円筒型リチウム電池(FDK製CR8LHCと同部品)
- 外装型番 ⇔ 4MY611/4MY812 ※下図は操作説明用で、実際のものとは異なることがあります。

訂正シール貼付位置

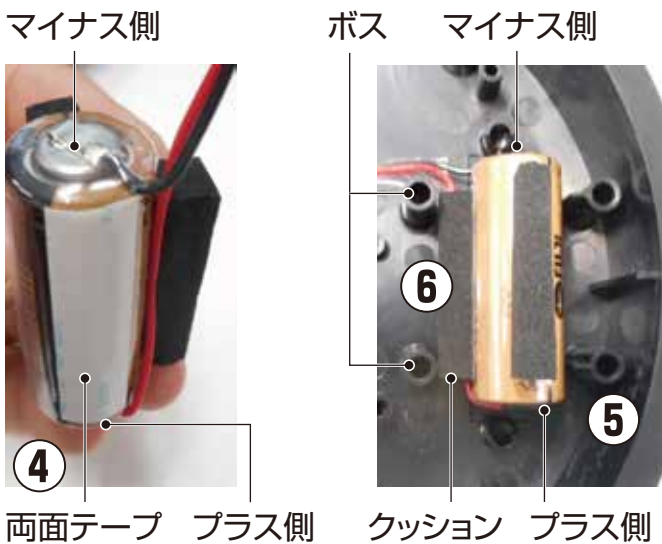
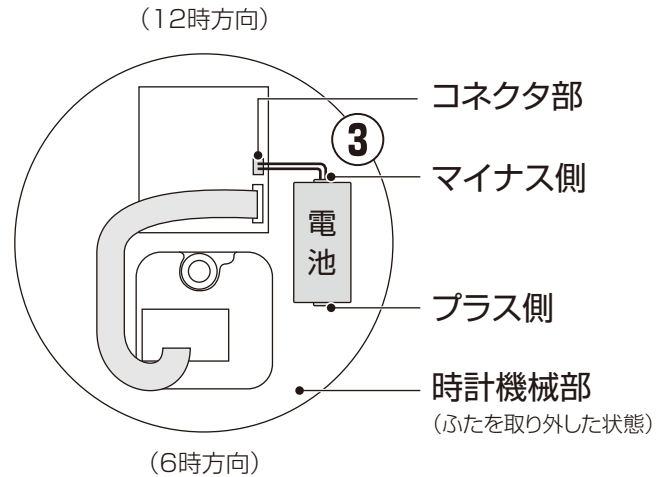
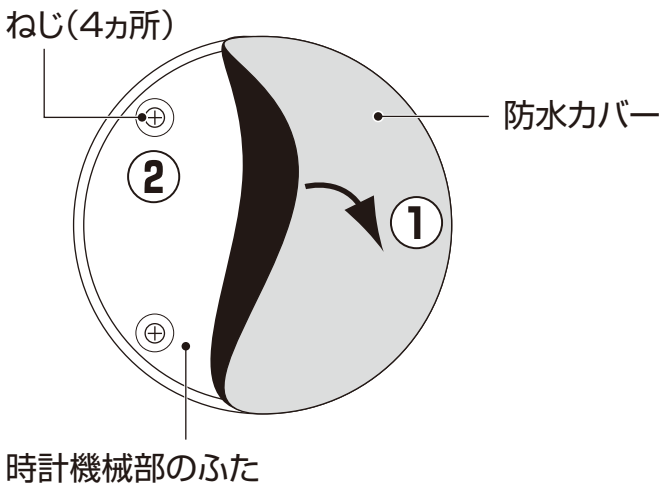
訂正シール

電池形式の記載部

操作シール

■電池交換の手順

事前に時計体を裏ぶたから取り外してください。



- ①時計裏面中央にある防水カバーを取り外す。
※濡れているときには、水分をよく拭き取ってから防水カバーを取り外してください。
 - ②時計機械部のふたを留めている4本のねじをゆるめ、時計機械部のふたを取り外す。
 - ③電池を接続しているコネクタ部を引き抜いて古い電池を取り外す。
※無理に引き抜くと接触不良等の原因になります。
 - ④新しい電池の側面に貼付されている両面テープの剥離紙をはがす。
 - ⑤両面テープ側を下にして、電池のプラス側を時計の6時方向に向ける。
 - ⑥電池側面のクッションが左側のボス*に触れる位置に配置して、両面テープで時計機械部の下地に固定する。
※ボスとは、成形部品の組み合わせや、他部品の接合の際にネジ穴やピン穴として使用される結合部分のことです。
 - ⑦電池のコネクタ部を接続する。
 - ⑧4本のねじを留めて、時計機械部のふたを取り付ける。
 - ⑨防水カバーを取り付ける。
- ◎以上で交換作業は終了です。時計本体を裏ぶたに取り付けてください。

